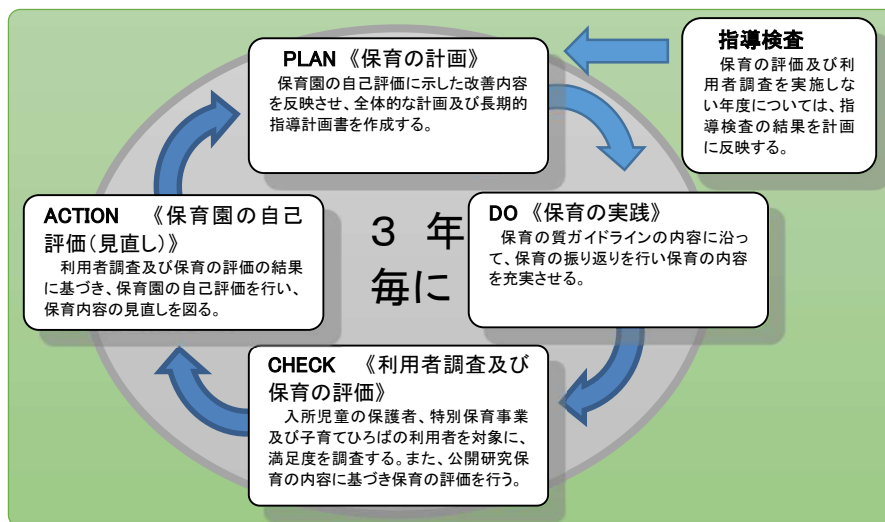


# 令和7年度 八王子市立保育園（公設公営園） 保育所の自己評価

国は、平成29年（2017年）3月31日に公示された新保育所保育指針の中で、「保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。」と明記しています。また、八王子市は、平成30年12月に、公立保育園が八王子市の保育における中核的な役割を果たしていくため、「八王子市（公設公営園）保育の質ガイドライン」を策定しました。

保育園が、保育施設としてその運営や保育内容等について保護者の皆様や地域の皆様に説明することは、保育所の重要な責務です。このことを踏まえ、公立保育園では保育の質の向上を図るために、利用者調査、公開研究保育とともに保育所の自己評価を実施しました。

今後は、評価の結果を踏まえ当該保育所において保育内容等の改善を図るとともに、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより強固なものとなるようにしてまいります。



## 評価責任者

八王子市子ども家庭部子どもの教育・保育推進課  
市立富士見台保育園 施設長 加藤 里子

令和7年度（2025年度） 保育所の自己評価 評価結果

評価項目	評価結果	評価結果・具体的事例および改善方法
<p><b>保育の方針 1</b></p> <p>子どもが人格を形成していく上で、自己肯定感を持てるようにすることが大切である。職員は、子どものあるがままを受け止め、自分の意思を自由に表現できるように保育の中で援助していく。</p>	83%	<p>子ども一人一人の姿や気持ちを受容し、応答的で丁寧な関わりを行ってきた。子どもたちの声に耳を傾け、個性や行動を受け止め、保育者との安定した関係のもとで安心して自分の意見を自信をもって表現できるよう援助している。</p>
<p><b>保育の方針 2</b></p> <p>子どもが保育園生活をおくる上で必要なルールを知らせるとともに、人にはそれぞれ違いがあり、その違いを認め合うことを伝えていく。</p>	79%	<p>様々な場面で、決まりや約束があることを都度伝えてきた。また、子ども一人一人の良さや違いに気づいたり子ども同士が認め合ったりできる場を大切にしてきた。</p>
<p><b>保育の方針 3</b></p> <p>人の成長には豊かな経験が必要であり、特に乳幼児期においてはそれが実体験でなくてはならない。人的・物的な環境を整え、自然に集団となつてあそぶ中で様々な体験ができるようにしていく。</p>	78%	<p>異年齢の交流や保育が充実していく中で、興味関心、好奇心が高まりつつあり、遊びの世界が広がってきた。子ども自身がやりたいことをみつけ、それを実現できるような環境構成に努めていく。</p>
<p><b>食育</b></p> <p>食事は子どもの身体的成長の基本であり、心豊かに食を楽しみながら自然の恵みに感謝し、子どもの命を守る大切な事項である。年齢にあった調理方法や栄養のバランスはもとより、食習慣の確立・栄養教育・心の健康づくりという目的に応じて一人ひとりの子どもに配慮する。</p>	81%	<p>調理員は保育室を回り、喫食状況の把握に努め、提供方法に配慮してきた。実際に、様々な食材を目にしたり、触れたりする機会をもち、野菜の栽培や収穫を通し、それを食すことで、食への興味関心や意欲、自然の恵みに感謝する気持ちが育つよう心掛けてきた。</p>
<p><b>子育て支援</b></p> <p>子どもの健やかな育ちを保障するため、家庭との連携を深めるとともに、在園児保護者及び在宅の子育て家庭における養育力が向上するよう援助していく。</p>	72%	<p>保護者のプライバシーを保護しながら、信頼関係の構築に努めた。様々な状況の家庭の子育てを支援すると共に、時に関係機関と連携を図り、養育力が向上するようサポートした。</p>
<p><b>職員の資質向上</b></p> <p>保育者に求められる専門性や倫理観を高めるため、保育の質の確保に向けた取り組みを組織的に行う。</p>	68%	<p>外部研修の活用を積極的に行い、様々な職員が受講できるようにした。研修内容を職員全体で共有する場を設けたり、定期的に園内研修や保育の振り返りを行ったりし、保育の質の向上に努めた。</p>
<p><b>安全管理と災害への備え</b></p> <p>日々、子どもたちの健康に留意するとともに、災害や事故に対する準備と心構えを持ち、それに係る訓練などを欠かさずに、子どもの安心・安全を守る。</p>	78%	<p>日々の視診、健康状態の把握を行い、朝礼、会議等で共有した。安全計画を作成し、避難訓練や事故防止研修を行ってきた。職員全体で危機管理意識の向上に努め、子どもの安全安心が守られるよう、環境整備、職員連携に努めていく。</p>